

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	盛岡大学
設置者名	学校法人盛岡大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学 科 名		夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数等	配置困難
				全学共通科目	学部等共通科目	専門科目		
文 学 部	英語文化学科		夜・通信			15	15	13
	日本文学科		夜・通信			14	14	13
	社会文化学科		夜・通信			14	14	13
	児童教育学科	児童教育コース	夜・通信			14	14	13
		保育・幼児教育コース	夜・通信			14	14	13
栄養科学部	栄養科学科		夜・通信			14	14	13
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>1 一覧表の公表ホームページアドレスは次のとおり。 https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/koutoumusho.php</p> <p>2 シラバス閲覧システムで抽出表示して閲覧することも可能。抽出して閲覧する方法は次のとおり。 盛岡大学ホームページのトップページから「在学生の方」メニューをクリック、次に「大学学生部」をクリックする。次に「大学シラバス」をクリックする。検索条件のキーワード欄に「実務経験のある教員による授業」と入力して「この条件で検索する」のボタンをクリックする。抽出された授業科目の一覧が表示される(直ぐには表示されないので待つこと)。表示された「講義科目名」をクリックするとシラバスの内容を確認することができる。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	盛岡大学
設置者名	学校法人盛岡大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載している。
<https://morioka-u.ac.jp/597042486c23fe02d110307ac26fd1d3.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R7.6.12～ 9年度定時評 議員会終結 の時	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定等
非常勤	大学同窓会会長	R7.6.12～ 9年度定時評 議員会終結 の時	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定等
非常勤	株式会社役員	R7.6.12～ 9年度定時評 議員会終結 の時	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定等
非常勤	元岩手県理事	R7.6.12～ 9年度定時評 議員会終結 の時	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	盛岡大学
設置者名	学校法人盛岡大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																			
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 授業計画(シラバス)の作成過程について</p> <p>(1) 新年度の開講科目及び担当教員が教授会で承認された後、本学の「シラバス作成要領」に基づき各授業科目担当教員が定められた期限(2月中旬)までに作成している。</p> <p>(2) シラバスの作成にあたっては、授業の内容、到達目標、事前・事後学修、成績の評価方法等を必須項目として記載している。</p> <p>(3) 各科目の授業担当教員が作成したシラバスは、3月上旬に「授業担当者以外の第三者(専任教員相互による)チェック」を実施し、修正依頼事項がある場合には授業担当教員にその内容を伝えて、修正期限の3月中旬までに修正を行い、再度チェックを受けてシラバス作成を終えている。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について</p> <p>作成を終えたシラバスは、3月下旬に実施する「新学年ガイダンス」の前までに本学ホームページ内の「シラバス検索システム」に掲載して広く内外に公表している。</p>																			
授業計画書の公表方法	<p>インターネットにより、本学ホームページ内の「シラバス検索システム」から閲覧できるように広く内外に公表している。</p> <p>アドレス： https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/koutoumusho.php</p>																		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																			
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の厳格かつ適正な評価について</p> <p>(1) 学修成果(成績)の評価方法については、客観的な評価方法(例えば定期試験、レポート、小テスト、卒業論文等の結果等)に基づき成績判定することをシラバスに具体的に示すことにより、学生へ周知を図っている。</p> <p>(2) 各授業科目担当教員が作成したシラバスに示されている学修成果(成績)の評価方法に基づき、履修登録された授業科目について評価判定を行い、学則第14条(学習の評価)及び学生便覧で示している評価基準に基づき、合格点に達した者に所定の単位を与え認定している。</p> <p>(3) 学修成果(成績)の評価基準は次のとおり。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>点数の範囲</td> <td>90~100点</td> <td>80~89点</td> <td>70~79点</td> <td>60~69点</td> <td>59点以下</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>S(秀)</td> <td>A(優)</td> <td>B(良)</td> <td>C(可)</td> <td>D(不可)</td> </tr> <tr> <td>合否</td> <td colspan="4">合格点</td> <td>不合格点</td> </tr> </table>		点数の範囲	90~100点	80~89点	70~79点	60~69点	59点以下	評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)	合否	合格点				不合格点
点数の範囲	90~100点	80~89点	70~79点	60~69点	59点以下														
評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)														
合否	合格点				不合格点														

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. 客観的な指標とするGPAの具体的な算出方法について

本学におけるGPAは、履修した各授業科目の成績に係るGPに当該授業科目の単位数を乗じて得た数値の総和を履修した各授業科目の単位数の総和で除して得た数値としている。GPAは学修状況を表す指標として、学修指導等に利用している。

成績評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)
GP	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00

※詳細については、別添書類 No.7「盛岡大学GPA運用要領」のとおり。

2. 客観的な指標とするGPAの適切な実施状況について

- (1) 算出したGPAの数値は、学生の学修成績や学修意欲を客観的に示す指標となるものであることから、原則年1回学年末(単年度の学業成績)においてこの指標を基に、学科ごとに学修成果の順位付けを行うと共に「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」(別添書類 No.3)を作成し、各学科の成績分布状況を把握している。
- (2) 算出したGPAの数値は、学生個々のWebポータル「単位修得状況」において、学期ごとのGPA及び年間GPA並びに累積GPAを表示しており、学生は自分のGPA及び順位を確認することで、学修の状況を客観的に把握することができるようにしている。
- (3) 学科ごとに算出した学修成果の順位付けの結果により、下位4分の1の範囲に属する学生において学修意欲を欠いていると判断される場合には、学業成績の向上に努力するよう指導している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	インターネットにより、本学ホームページ内から閲覧できるように広く内外に公表している。 アドレス： https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/koutoumusho.php
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. 卒業認定・学位授与の方針について

平成28年度に文学部 英語文化学科、日本文学科、社会文化学科及び児童教育学科並びに栄養科学部栄養科学科の「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」の見直しを行い、同年度末までに改正した「ディプロマ・ポリシー」を、インターネットによる本学ホームページで公表すると共に、入学生に配付する学生便覧等印刷物を通じて広く内外に周知を図っている。

2. 各学部・学科の卒業の要件及び卒業判定の手順について

各学部・学科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則第22条(卒業の認定)に規定しているとおり、本学に4年以上在学し、学則第15条に定める卒業に要する単位数を修得した者について、教務委員会において要件を満たしていることを確認し、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

学則第 15 条に定める各学部・学科の卒業に要する単位数は次のとおりである。

(卒業に要する単位)

第 15 条 本学を卒業するためには、第 9 条第 2 項に定める各学部、学科の所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

- 2 文学部英語文化学科においては次の各号に定める科目及び単位を含め、124 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 教養科目から 16 単位
 - (2) 専門科目から 68 単位
 - (3) 教養科目、専門科目及び教職に関する科目から 40 単位
- 3 文学部日本文学科及び社会文化学科においては次の各号に定める科目及び単位を含め、124 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 教養科目から 26 単位
 - (2) 専門科目から 72 単位
 - (3) 教養科目、専門科目及び教職に関する科目から 26 単位。ただし、教職に関する科目に関しては 20 単位を上限とする。
- 4 文学部児童教育学科においては次の各号に定める単位を含め、124 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 教養科目から 24 単位
 - (2) 専門科目から 70 単位
 - (3) 教養科目及び専門科目から 30 単位
- 5 栄養科学部栄養科学科においては次の各号に定める単位を含め、124 単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 教養科目から 10 単位
 - (2) 専門科目から 71 単位
 - (3) 教養科目及び専門科目から 43 単位

卒業の認定に関する
方針の公表方法

インターネットにより、本学ホームページ内の「[盛岡大学三つの方針](#)」から閲覧できるように広く内外に公表している。
アドレス：<https://morioka-u.ac.jp/faculty/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	盛岡大学
設置者名	学校法人盛岡大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「財務状況と情報公開関係書類」を大学・短大の学内に設置し、公開している。 https://morioka-u.ac.jp/about/corporation/business-report/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和8年度事業計画・予算 対象年度:令和8年度)
公表方法:ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/d9e38ab64c181f3a02a1452ccf654da8.pdf
中長期計画(名称:学校法人盛岡大学中期計画(令和6年度~令和10年度) 対象年度:令和6年度~令和10年度)
公表方法:ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/%E4%B8%AD%E6%9C%9F%E8%A8%88%E7%94%BB%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81%EF%BC%88%E5%85%AC%E8%A1%A8%EF%BC%89A4%E4%BF%AE%E6%AD%A3%E7%89%880611-3.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:公表方法:ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/jikohyouka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/jikohyouka.html
--

3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部・栄養科学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載している。） 【文学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-literature/ 【栄養科学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-nutrition/
（概要） 【文学部】 東北の地域に根ざしながら、学術の中心として個性をもった魅力ある大学をめざし、広い知識と深い専門性をもつとともに、奉仕の精神を基盤とする高い道徳的実践力及び国際化時代に対応した実際の応用力を身につけた教養ある善き社会人を育成することをめざします。そして、目標を達成するための建学の精神に基づく具体的な行動原理として、「対話のある学校」を掲げています。 【栄養科学部】 人間の生命現象について科学的理解を深め、「生命と真理」を尊び、健康、栄養食に関する専門の知識を授け、社会の福祉に寄与する人材の育成を行います。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載している。） 【文学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-literature/ 【栄養科学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-nutrition/
（概要） 【文学部】 キリスト教精神に由来する建学の精神「愛と奉仕」を基本理念としつつ、学則第 3 条の 2 に定める「国際社会に対応できる幅広い知識と深い専門性を持ち、奉仕の精神を基盤とし、実践力を身につけた教養あるよき社会人を育成する」ことを目的としています。こうした目的のもと、本学部の学位プログラムの課程を修め、所定の単位修得と必修等の条件を充たすことで、能力・資質を身につけた者に対して学士（文学）」の学位を授与します。 【栄養科学部】 キリスト教精神に由来する建学の精神「愛と奉仕」を基本理念としつつ、学則第 3 条の 2 第 2 項に定める「人間の生命現象について科学的理解を深め、『生命と真理』を尊び、健康、栄養、食に関する専門の知識を授け、社会の福祉に寄与する人材を育成する」ことを目的としています。こうした目的のもと、本学部の学位プログラムの課程を修め、所定の単位修得と必修等の条件を充たし、能力・資質を身につけた者に対して「学士（栄養科学）」の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載している。） 【文学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-literature/ 【栄養科学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-nutrition/
（概要） 【文学部】 卒業認定・学位授与の方針に掲げる広い知識と深い専門性・国際社会に対応した実践的応用力・奉仕の精神を基盤とする高い道徳的実践力を修得させるため、教養科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実験・実技・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。各学科のカリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、科目内容の領域及び難易度について、カリキュラムマップや履修モデルを設け、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

<p>【栄養科学部】 卒業認定・学位授与の方針に掲げる力を修得させるため、教養科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実験・実技・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、科目内容の領域及び難易度について、カリキュラムマップや履修モデルを設け、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載している。） 【文学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-literature/ 【栄養科学部】 https://morioka-u.ac.jp/faculty/policy-nutrition/</p>
<p>(概要) 【文学部】 学則第3条の2に定める人材を育成するために、本学部での学修に対する目的や意欲を有し、高等学校までの学習及び経験を通じての基礎的な知識、身近な問題について自ら考え、その結果を表現できる力を身につけた入学者を求めます。 【栄養科学部】 卒業認定・学位授与の方針に定める人材を、教育課程編成・実施の方針に従って育成するために必要な能力、目的意識、意欲を備えた入学者を求めます。本学部では入学者受入れの方針に合致した入学者を適切かつ多面的・総合的に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/hokannriunneikitei.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
文学部	—	29人	18人	0人	4人	0人	51人
栄養科学部	—	6人	2人	3人	0人	5人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		101人					101人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：ホームページに掲載している。 https://morioka-u.ac.jp/kyoin/						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学則第2条の2第1項の規定に基づき、年1回実施。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	320人	333人	104.0%	1,280人	1,265人	98.8%	－人	10人
栄養科学部	80人	70人	87.5%	320人	260人	81.2%	－人	1人
合計	400人	403人	100.7%	1,600人	1,525人	95.3%	－人	11人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	323人 (100%)	3人 (0.9%)	301人 (93.2%)	19人 (5.9%)
栄養科学部	41人 (100%)	0人 (%)	38人 (92.7%)	3人 (7.3%)
合計	364人 (100%)	3人 (0.8%)	339人 (93.2%)	22人 (6.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	(令和4年度入学生)			
		修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	347人 (100%)	300人 (86.4%)	26人 (7.5%)	21人 (6.1%)	()%
栄養科学部	60人 (100%)	38人 (63.3%)	11人 (18.3%)	11人 (18.3%)	()%
合計	407人 (100%)	338人 (83%)	37人 (9.1%)	32人 (7.9%)	()%
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>1. 授業計画（シラバス）の作成過程について</p> <p>(1) 新年度の開講科目及び担当教員が教授会で承認された後、本学の「シラバス作成要領」に基づき各授業科目担当教員が定められた期限（2月中旬）までに作成している。</p> <p>(2) シラバスの作成にあたっては、授業の内容、到達目標、事前・事後学修、成績の評価方法等を必須項目として記載している。</p> <p>(3) 各科目の授業担当教員が作成したシラバスは、3月上旬に「授業担当者以外の第三者（専任教員相互による）チェック」を実施し、修正依頼事項がある場合には授業担当教員にその内容を伝えて、修正期限の3月中旬までに修正を行い、再度チェックを受けてシラバス作成を終えている。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について</p> <p>作成を終えたシラバスは、3月下旬に実施する「新学年ガイダンス」の前までに本学ホームページ内の「シラバス検索システム」に掲載して広く内外に公表している。</p>
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>1. 客観的な指標とするGPAの具体的な算出方法について</p> <p>本学におけるGPAは、履修した各授業科目の成績に係るGPに当該授業科目の単位数を乗じて得た数値の総和を履修した各授業科目の単位数の総和で除して得た数値としている。GPAは学修状況を表す指標として、学修指導等に利用している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>S(秀)</th> <th>A(優)</th> <th>B(良)</th> <th>C(可)</th> <th>D(不可)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GP</td> <td>4.00</td> <td>3.00</td> <td>2.00</td> <td>1.00</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細については、別添書類 No.7「盛岡大学GPA運用要領」のとおり。</p> <p>2. 客観的な指標とするGPAの適切な実施状況について</p> <p>(1) 算出したGPAの数値は、学生の学修成績や学修意欲を客観的に示す指標となるものであることから、原則年1回学年末（単年度の学業成績）においてこの指標を基に、学科ごとに学修成果の順位付けを行うと共に「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」（別添書類 No.3）を作成し、各学科の成績分布状況を把握している。</p> <p>(2) 算出したGPAの数値は、学生個々のWebポータル「単位修得状況」において、学期ごとのGPA及び年間GPA並びに累積GPAを表示しており、学生は自分のGPA及</p>	成績評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)	GP	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00
成績評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)							
GP	4.00	3.00	2.00	1.00	0.00							

<p>び順位を確認することで、学修の状況を客観的に把握することができるようにしている。</p> <p>(3) 学科ごとに算出した学修成果の順位付けの結果により、下位4分の1の範囲に属する学生において学修意欲を欠いていると判断される場合には、学業成績の向上に努力するよう指導している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	英語文化学科	124単位	⑦・無	48単位
	日本文学科	124単位	⑦・無	48単位
	社会文化学科	124単位	⑦・無	48単位
	児童教育学科	124単位	⑦・無	48単位
栄養科学部	栄養科学科	124単位	⑦・無	46単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/koutoumusho.php		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/koutoumusho.php		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページに掲載している。
<https://morioka-u.ac.jp/campus-life/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載 事項)
文学部	英語文化 学科	720,000 円	260,000 円	270,000 円	
	日本文 学科	〃 円	〃 円	〃 円	
	社会文化 学科	〃 円	〃 円	〃 円	
	児童教育 学科	〃 円	〃 円	〃 円	
栄養 科学部	栄養 科学科	720,000 円	260,000 円	360,000 円 (2年目以降は 400,000 円)	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1 学費負担の軽減 (1) 盛岡大学特別奨学生 (2) 盛岡大学奨学会 (3) 入試特待生制度 ア学業入試特待生 イ資格入試特待 (4) 経済支援入試特待生 2 学生面談の実施 本学では、学生面談を実施している。成績不振者(標準修得単位数以下もしくは GPA 下位 1/4 等)の学生を呼び出し、改善を促している。また、全学生対象に学生支援アンケート(UPI)を行い、個々の学生の大学への適応状態を把握して、潜在的に学業や学生生活に不安や不満を抱えている学生を見つけ出し、カウンセラーが面談等声掛けを行うなどの支援に活用している。 3 学生生活の環境整備 学生に対する教職員の対応等学生の快適な学修・生活環境の保証を心掛け、可能な限り学生の要望に応えるべく改善に向けて業務にあたっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路選択の支援は、主に就職センターが担当し、入学時から就職活動に入る直前まで一貫して学生のキャリア形成のサポートを行っている。また、産官学共同で、県内企業キャラバンや合同企業説明会などを開催すると共にインターンシップの実施など地域企業との連携も図っている。就職センターは、大学と短大部の共通機関として、学生の就職支援を行い、両大学の就職対策委員の教員と連携し、学生の就職支援を行っている。

なお、教職支援の学生については、教員養成サポートセンターが支援を担当している。障害のある学生については、カウンセラーが中心となり、ハローワークや障害者職業センター等の専門機関へつなげ就職センターと連携している。その際、学生の希望職種等を聞き、家族の理解のもと、適正な環境・職場への取次ぎすることを意識している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学校法人盛岡大学ウエルネスセンターを中心とし、相談室規程や学生修学支援要領を基に支援を行なっている。本人及び保護者等から面談の申込みがあった場合や相談室・保健室・学生部・教員・各セクション窓口等から困っている学生や気になる学生等の情報がもたらされた場合は、カウンセリングを手始めに支援を行なっている。また、カウンセリングや面談の中で学生の困り感を聞き出し具体的な支援を行ったりしている。要望によっては、履修登録科目担当教員等関係者に対し支援（授業配慮等）を依頼し、必要に応じて医療・福祉等外部機関を活用するなどの支援等を行なっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページに掲載している。

<https://morioka-u.ac.jp/home/disclosure/172-2.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F103310100773
学校名 (〇〇大学 等)	盛岡大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人盛岡大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		461人（ 211 ）人	475人（ 215 ）人	475人（ 215 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	152人	150人	
	（うち多子世帯）	（ 24 人）	（ 25 人）	
	第Ⅱ区分	87人	83人	
	（うち多子世帯）	（ 11 人）	（ 9 人）	
	第Ⅲ区分	47人	39人	
	（うち多子世帯）	（ 10 人）	（ 1 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	52人	50人	
	区分外（多子世帯）	114人	130人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（ - ）人
合計（年間）				478人（216）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	7人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	6人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	5人	人	人
計	15人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	3人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	5人	人	人
GPA等が下位4分の1	58人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	10人	人	人
計	62人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。